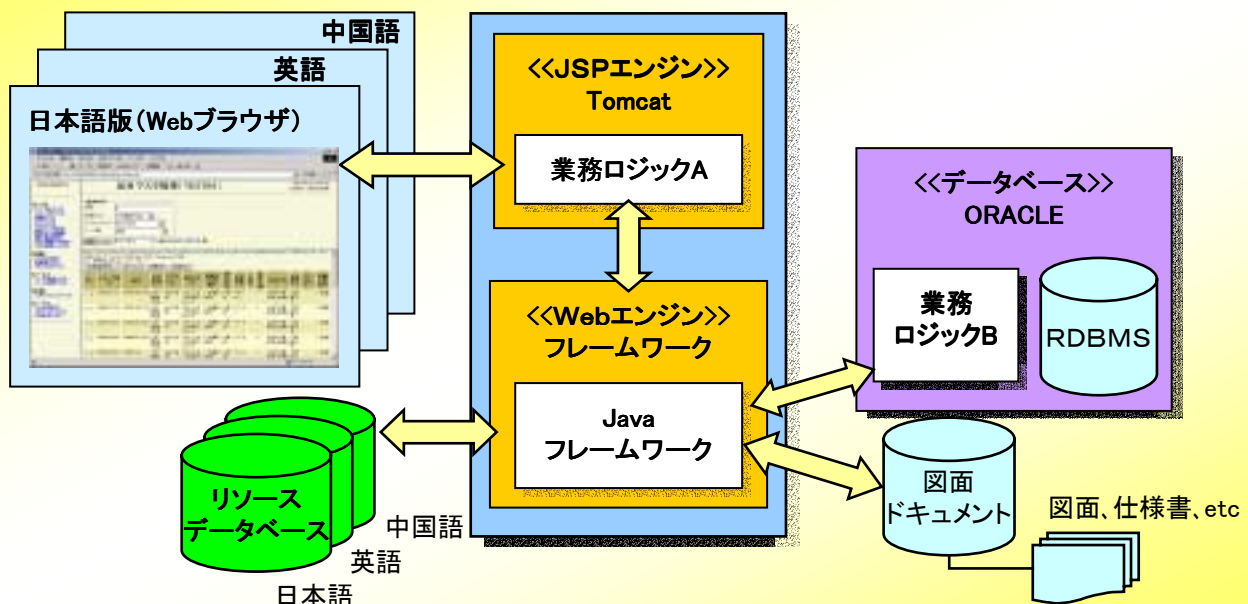


GrowingMISシリーズを始め、社内/社外システム構築のフレームワークとして、当Webエンジンは採用されています。Webアプリケーション構築にとって本当に必要な技術はなにかを、真剣に問いつづけた結果、開発されたのが、このWebエンジンです。

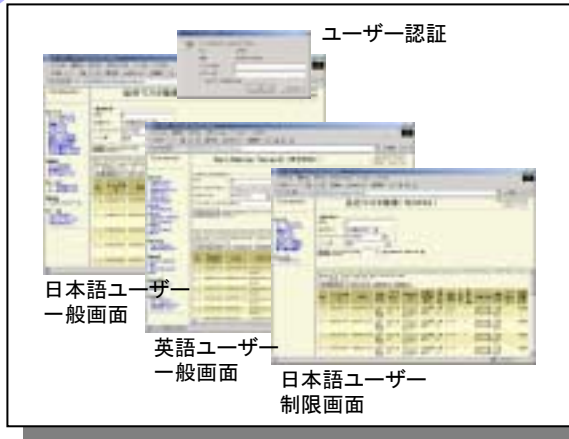
- 業界標準技術 (Java + Tomcat) の採用
- 共通機能をフレームワークとしてあらかじめご用意
- 画面開発にJavaの知識は不要

多言語に標準対応、カスタムタグによるメンテナンス性の向上を実現しました。



- 共通機能による均質な操作性
  - ▶ 標準機能としての国際化対応 (ラベル, 選択リスト, メッセージ)
  - ▶ ログイン認証 (BASIC認証)、ユーザーロールによる個別画面アクセス制限
  - ▶ CSV出力機能、CSV入力機能を標準でご提供
- 短納期を実現するスパイラル開発
  - ▶ カスタマイズやシステム変更が容易なフォルダ階層構造を採用
  - ▶ 多彩なカスタムタグや、タイプ別雛型画面による、開発工数の削減
  - ▶ リソースファイル (リソースDB) を利用して、全画面を共通設定
- 保守性を向上させるWebエンジン
  - ▶ 画面 (JSP) と業務ロジック (SQL) の分離
  - ▶ システムの運用状況を遠隔 (Webブラウザ) から監視可能
  - ▶ リソースDB登録画面、ORACLE監視画面のご提供

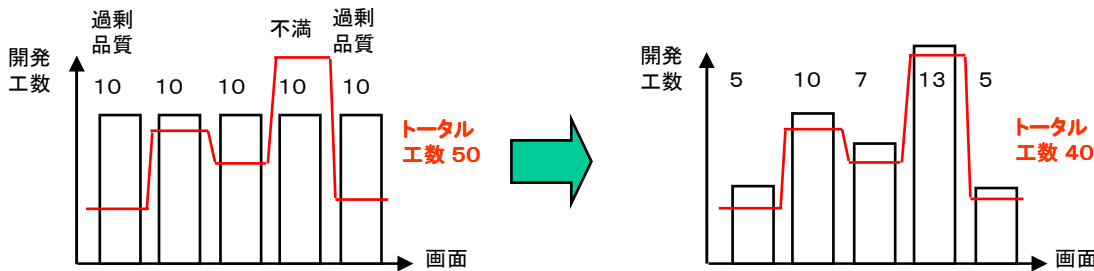
共通機能



Webアプリケーションには、システムで**共通に使用される機能**が多くあります。例えばユーザー認証や国際化、画面のアクセス制御、CVSファイルへの入出力などです。これらの機能を、あらかじめフレームワークとしてご用意しておくことで、高機能・高品質な機能を短納期で実装することが可能です。また、フレームワークでの対応により全ての画面/システムにおいて、**均質な操作性**が実現される為、システム間での使い勝手が向上します。

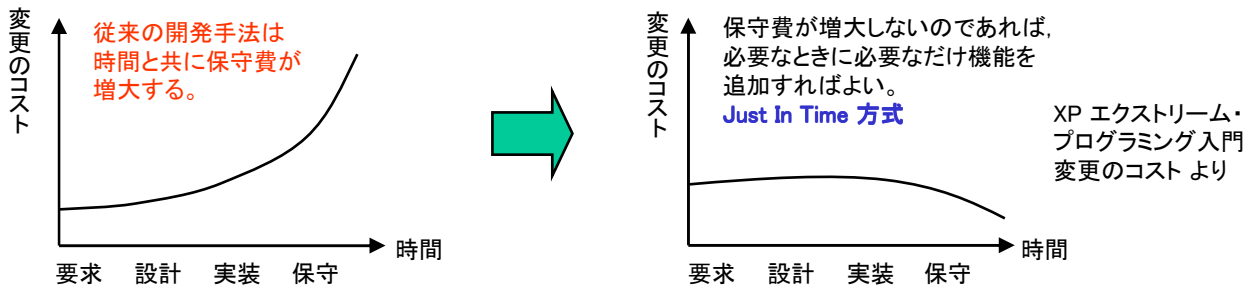
短納期

短納期を実現するには、フレームワーク側での標準機能の充実だけではなく、タイプ別雛型画面の作成や、**スパイラル開発を実現**できる仕組みが必要です。Webエンジンでは、『効率の追求から効果の追求』に考え方をシフトし、顧客満足度の向上と、短納期開発との共存を実現しています。



保守性

変化が激しい現代では、将来使われるかどうか判らない機能は大きなリスクであり、キャッシュフローや、スループットの観点からも、好ましいものではありません。『今、必要な機能のみを実装する』為には、**保守性の向上**が不可欠です。Webエンジンを使用することで、保守性を向上することが可能になります。



システム動作環境

◆ サーバー

- CPU : Pentium III 500MHz以上 (推奨)
- メモリー : 1024MB以上 (推奨)
- HDD : 30GB以上 (推奨)
- OS : Windows 2000 Server
- DB : ORACLE 9i
- その他 : J2SE 1.4.2 / tomcat 4.1.27

◆ クライアント

- CPU : Pentium 133MHz以上 (推奨)
- メモリー : 128MB以上 (推奨)
- OS : Windows98SE以上
- Webブラウザ : IE5.5以上
- その他 : Display解像度 1024×768以上

※ Windowsは米国マイクロソフト社の登録商標です。  
 ※ その他の記載の商品名は一般に各社の商標、または登録商標です。  
 ※ 記載の内容は将来予告なく変更されることがあります。